

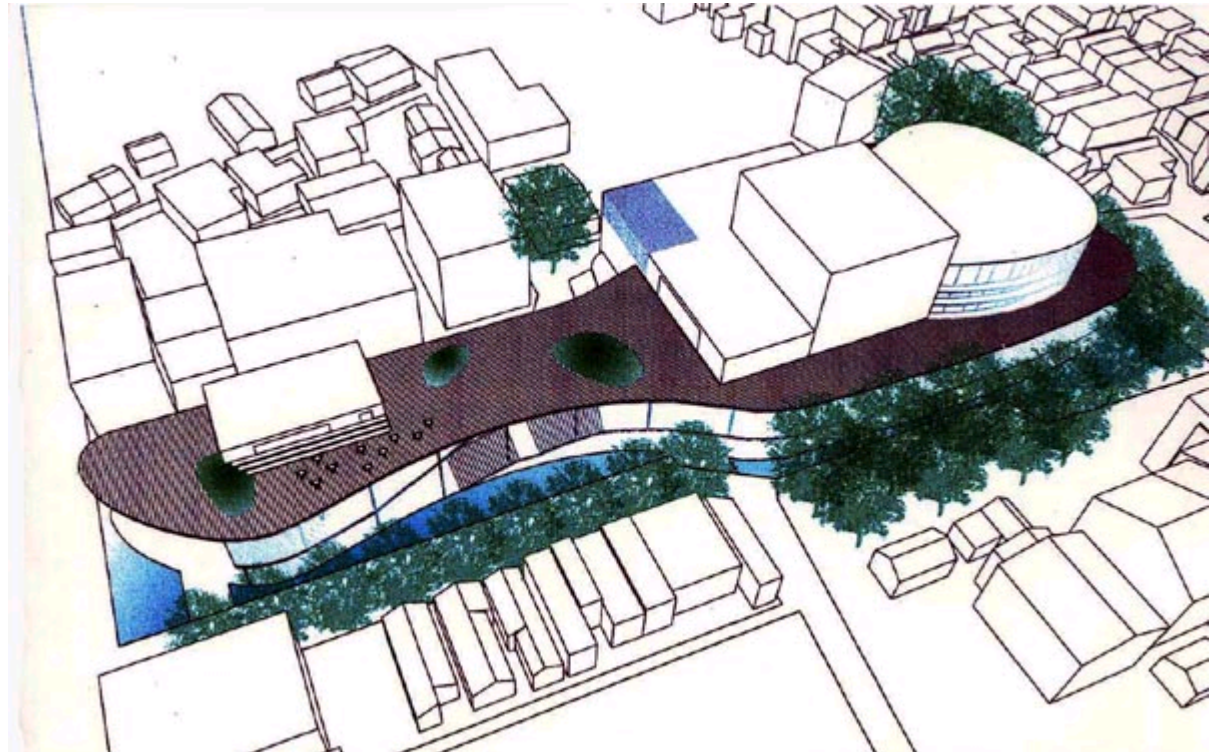
松本市市民会館改築エスキースコンペについて

I エスキースコンペ経過

イメージ図は選定された構想提案です。

1 応募経過

- (1) 市の業者指名審査委員会において、アトリエ系5社、大手組織事務所系5社の合計10社を本エスキースコンペ参加指名設計事務所として決定し、平成12年8月30日に全社に通知
- (2) 9月4日に、指名設計事務所全社の参加のもと現地説明会を開催し、コンペ実施要領等の説明を行うとともに資料を配布
- (3) 9月11日に応募内容に関する質疑を締め切り、9月18日に質疑応答書を全社に送付
- (4) 10月20日の受付締切までに、全社が構想提案書等提出書類を提出
- (5) 10月27日の選定委員会で、構想提案書を審査し、ヒアリング対象者3社を選定
- (6) 10月29日ヒアリング対象者3社について個別にヒアリングを行い、選定設計者(最適案)を決定



II 選定経過

1 第1回選定委員会

- (1) 平成12年8月30日、都内において開催
- (2) 選定委員会委員長に船越徹東京電機大学教授を、副委員長に萩原寿郎松本市助役を選出

するとともに、劇場・ホールに関する意見を求めるため、本杉省三日本大学教授を選定委員会専門委員とすることを了承

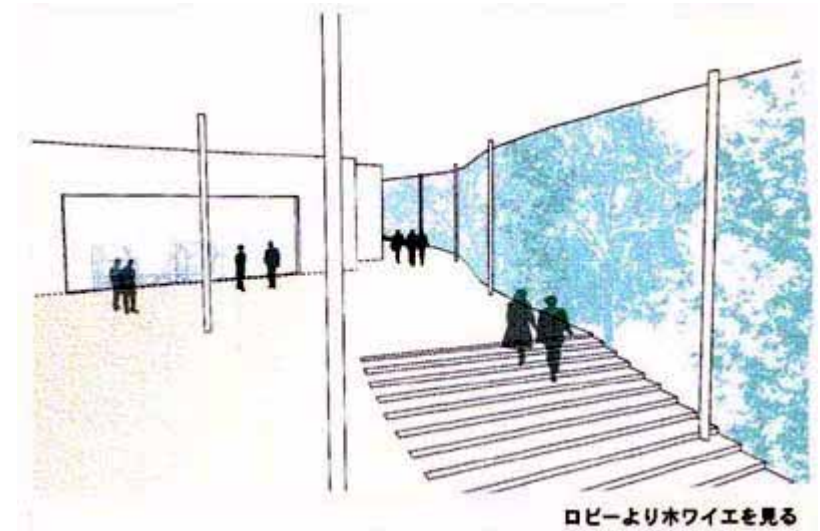
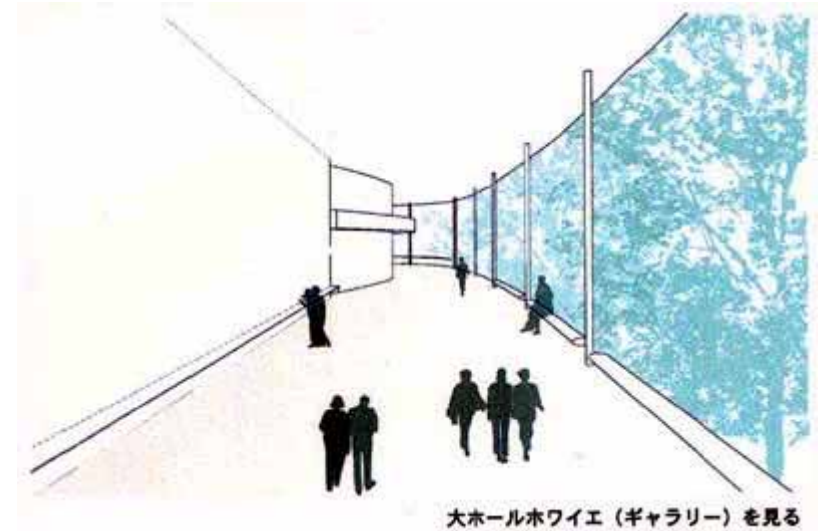
- (3) 本エスキースコンペの実施要領に関して、市民会館改築にあたっての設計趣旨やエスキース図・イメージ図などをA1サイズ1枚にまとめた構想提案書に基づいたコンペ方式とすること、ヒアリング対象者の選定は3社程度とすること等を決定

2 第2回選定委員会

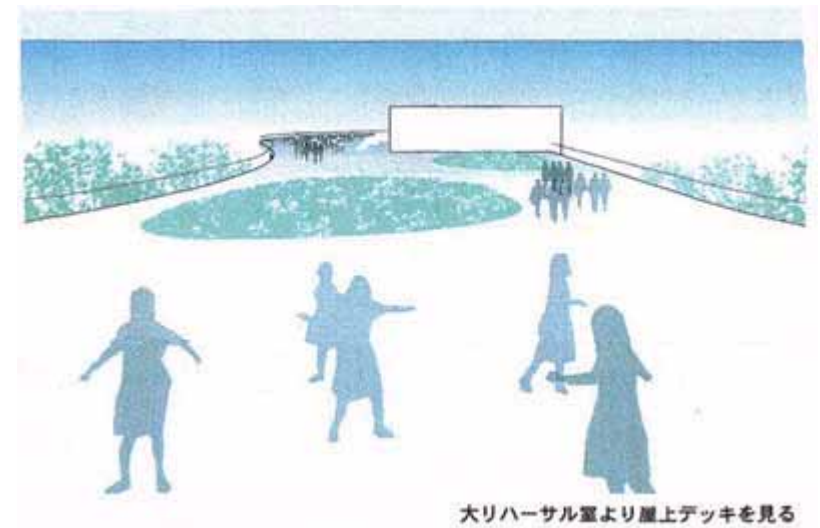
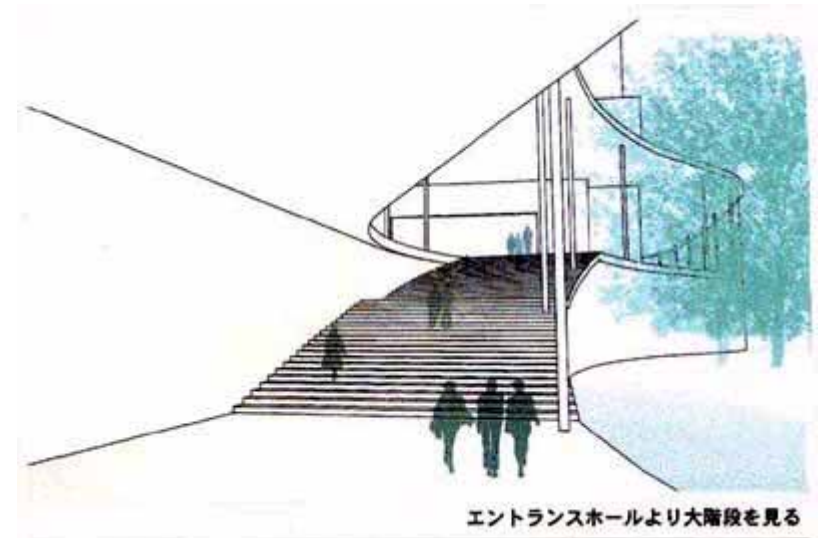
- (1) 平成12年9月14日、松本市において開催
- (2) 市民会館と県文化会館の現地視察を実施
- (3) コンペ応募各設計者から寄せられた質疑42問に対する応答案を作成

3 第3回選定委員会

- (1) 平成12年10月27日、都内において開催
- (2) 応募のあった10社から提出された構想提案書について、まず作品毎に、各選定委員及び専門委員の見解を披瀝しながら詳細に検討した後、選定委員の投票によってヒアリン



- グ対象社を選定していくことを選定委員全員で確認
- (3) 選定委員会事務局において、あらかじめ作品番号を任意に付し、選定委員会はその番号のみに基づいて審査を実施
 - (4) 第1次審査
 - ア A～J案までの各作品毎に、選定委員の見解を披瀝した後、専門委員も加えて詳細に検討し、次に各選定委員が持票3票以内として投票
 - イ 投票結果
A案3票、B案0票、C案3票、D案1票、E案2票、F案4票、G案10票、H案1票、I案2票、J案0票
 - ウ 上位G案、F案をまずヒアリング対象社とすることを了承
 - (5) 第2次審査
 - ア 残りの8作品に関して検討後、得票0点、1点及び2点の作品については、ヒアリング対象社から外すことを決定
 - イ 3票を得たA案、C案については投票でヒアリング対象者を選定することとし、各選定委員が持票1票として投票
 - ウ 投票結果
A案3票、C案7票
 - エ C案をヒアリング対象社とすることを了承
 - (6) この時点で、事務局が各案の設計事務所名を開示
 - (7) C案(株式会社山下設計案)、F案(株式会社柳澤孝彦タック建築研究所案)及びG案(株式会社伊東豊雄建築設計事務所案)に対してヒアリングを行うことを決定

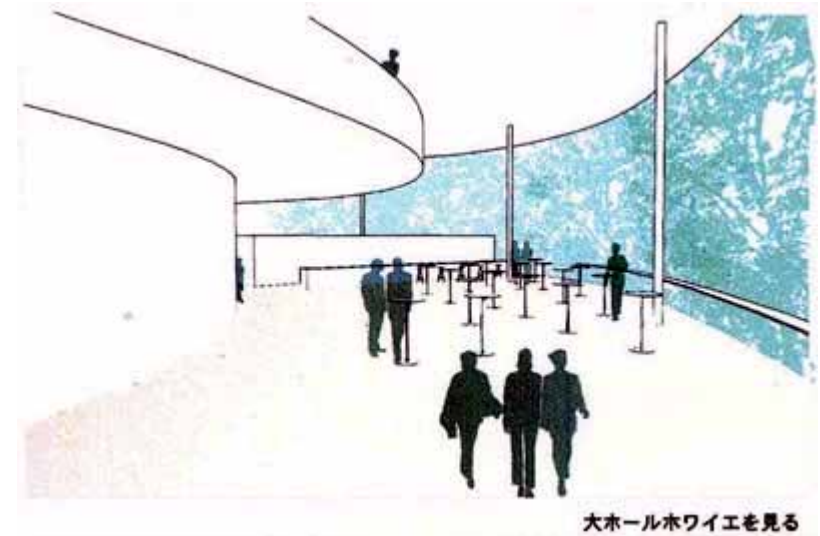


4 第4回選定委員会

- (1) 平成12年10月29日、松本市において開催
- (2) 上記ヒアリング対象3社に対し、個別に40分毎のヒアリングを実施

- (3) ヒアリング終了後、協議を行い、選定設計社(最適案)はG案(株式会社伊東豊雄建築設計事務所案)とすることを全員一致で決定

G案 [提案のコンセプト](#)
[R階平面図](#)
[2階平面図](#)
[1階、M2階平面図](#)
[B1階平面図、断面図](#)



G案((株)伊東豊雄建築設計事務所、代表:伊東豊雄)選定理由

非常に斬新で、21世紀初頭のメルクマールとなる画期的な劇場建築と期待できる。

デザインは現代の先端を行く創造的なものであり、非対称で軽やかなある種の日本的感覚にあふれ、今後の松本市のまちづくりに大きな影響を与えられる。

表裏がはっきりしがちな劇場建築でありながら、裏側のない開放的で親しみやすい空間を作りだしている。

南東隅にあるケヤキの巨木を初めとして、相当数の樹木を保存する可能性があり、建物上層部を圧迫感のないようにセットバックさせ、また深志神社の尊厳を損なわないデザインなど、周辺環境に配慮されている。

一方で、デザインのみならず劇場機能を熟知した案であり、大規模な公演、会議から、小ホールを中心とした市民文化活動までの幅広い利用に対して非常にフレキシビリティの高い案である。

ホワイエの面積も広くとられ、緑が見える快適なアプローチと客席内におけるオペラ・コンサートなどの華やかな雰囲気も含め、観客聴衆の気持ちも十分に考慮されている。

1100席程度の演劇を考慮したホールへの転換方式もよく考えられており、雰囲気・音響なども適切な計画となっている。

リハーサル室にも自然採光やテラスを与え、屋上庭園と関連付けることで閉鎖的な空間に快適性を与えている。

耐震上もよく考えられた設計であり、災害時には市民の避難拠点になると考えられる。

伊東豊雄氏は日本芸術院賞、日本建築学会賞、芸術選奨文部大臣賞、毎日芸術賞など数多くの賞を受けている国際的にも評価の高い建築家であり、完成度の高い建築が期待できる。

平成12年10月30日
松本市市民会館改築エスキースコンペ選定委員会
委員長 船越 徹

上へ下へ戻る

区分	氏名	役職等	備考
庁外選定委員	船越 徹	東京電機大学教授	委員長
	小川秋實	前信州大学学長	
	坂本一成	東京工業大学教授	

松本市市民会館改築エスキースコンペ参加者

(9月4日現地説明時受付順)

- 1 株式会社 石本建築事務所
- 2 株式会社 山下設計
- 3 株式会社 内藤廣建築設計事務所

庁内選定委員

高宮真介
津村 卓
初田 亨
萩原寿郎
坪田明男
島村昌代
坂井 勉

日本大学教授
(財)地域創造 プロデューサー
工学院大学教授
松本市助役
松本市収入役
松本市財政部長
松本市建設部長

副委員長

- 4 株式会社 A&T建築研究所
- 5 株式会社 日本設計
- 6 株式会社 久米設計
- 7 株式会社 日建設計
- 8 株式会社 伊東豊雄建築設計事務所
- 9 株式会社 シーラカンスアンドアソシエーツ
- 10 株式会社 柳澤孝彦タック建築研究所